

# (公) 高崎経済大学

地域政策学部

地域づくり学科

キャリア教養学科 (橘高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学前からです。高3の大学受験に失敗した時に高校の担任の先生から、桜の聖母短大は編入学に強いことを聞いたので、編入学という形でもう一度大学受験に挑戦しようと考えました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生の後期から「キャリアデザイン」で編入を志望する人向けの授業があり、そこで、編入に関する基礎的なことから、志願理由書の書き方や面接練習、小論文の対策といった実践的なことまで学んでいきます。また、週に2回、編入英語の授業があり、英単語力や英文訳読の力を向上させることができます。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年の早い時期から個人的に先生と面談し、勉強のアドバイスを頂いていましたが、実際の学習指導は1年の後期から本格的に始まりました。小論文に関しては授業で書き方や押さえるべき時事問題について学び、問題を解いては添削して頂きました。面接に関しては、試験直前まで学科問わず複数の先生方と何度も練習させて頂きました。先生方からのアドバイスは試験当日も何度も思い返しては精神的に支えられていました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

編入対策で一番に努力したことは、学外での活動に積極的に参加したことです。学外で様々なことを経験したことは、幅広い知識を身につけるだけでなく、面接での自己PRや特別研究のテーマを決めるきっかけにもなりました。一回きりでなく継続することが大事だと思います。

また、小論文対策として1年の冬あたりから幅広い知識と高度な語彙力を身につけるために新書や論点100を読み込んでいました。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

講義型の授業だけでなく、アクティブラーニングを用いるといった実践的な学びを通してコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などといった実践的な力を身につけることができました。

また、様々な分野の教科を履修することができるので、幅広い教養を身につけることができます。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

全てのアドバイスが役に立ちましたが、しいていうなら、短大でどのようなことを学び→編入先ではさらにどのようなことを研究したいと考えていて→将来はどのような社会貢献をしたいのか、大学編入学の明確なビジョンを持つことが大事というアドバイスは大学研究や志願理由を考える際にとっても役に立ちました。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①とにかく不安が大きかった気がします。

②これから編入試験に向けて人一倍頑張るという強い気持ちがありました。

③緊張でどうにかなりそうでしたが、とにかく今までやってきたことを出し切ろうと思っていました。

④受験は想像以上にあっという間で、とりあえず無事に終わったことに安堵しました。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

編入は個人戦です。いかに自分と向き合い、継続して学び続けることが必要になります。決して簡単なことではありませんが、聖母短大には熱心にご指導して下さる先生と共に頑張る仲間がいます。この2年間で人間的にも成長することができました。ぜひ最後まで諦めずに自分のことを信じてやり抜いて下さい。